

意外と知られていない松原の魅力
を阪南大学国際コミュニケーション
学部神尾ゼミの皆さんと探索・お伝
えする「松原ええとこ発見隊」。



今回は1年間の
の総括というこ
とで、学生の皆
さんに今まで取
材した中で1番
心に残ったとこ
ろを取り上げ、

文章を起こし、自分たちの「ええと
こ発見隊」の記事を班に分かれて
作ってもらいました。

伝えるためには

「誰に伝えたいか」「何を1番伝え
たいか」「そのためにどう工夫する
か」を基準に実寸サイズであるA4
の紙に仕上げました。

どうすれば自分たちや取材先の皆
さんの思いを相手に伝えることがで
きるのか、写真を切り貼りしたり、
色味や文字の大き
さ・配置を考えたり
しながら、試行
錯誤しました。
実際に書店で売
られている雑誌な
どを参考に、紙面



の作られ方を分析し、進めていきま
した。

手で作ること

作業中「図画工
作の時間みたい
と笑いがこぼれた
場面も。
そうです!こう
して紙面を作っ
ていた時代もあるん
です。コンピューター
の時代になっ
ても基本は変わりませ
ん。考えながら手
を動かしました。



プレゼンテーション

作成後は、プレ
ゼンテーションを
行いました。
皆さん緊張した
面持ちで、自分た
ちの紙面を熱く語
りました。



仲間のプレゼン
テーションにも
興味津々。
質疑応答が飛
びかいました。



1年間お疲れさまでした

出来上がった紙面を自分たちの
「ええとこ発見隊」集に。この1
年、学生の皆さんと一緒に探索
した松原のええとこ。一
人でも多くの市民の心に
残ることを願っています。
神尾先生、ゼミの皆さん、
ありがとうございました!

